

2022年6月5日 ペンテコステ礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

6月5日 ペンテコステ礼拝

前奏

招詞 イザヤ書49章13節

「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン

会衆賛美 聖歌40

会衆賛美 鹿のように

主の祈り

交読 詩篇84篇1～7節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 使徒の働き

説教 2章1節～21節

ともに立つ

会衆賛美 聖歌607 荻野泰弘牧師

献金 聖歌376

頌栄 聖歌376

祝祷

報告

後奏 感謝祈禱

■聖歌40「聖なるかな」

- ①聖なるかな 全能の神 われら朝まだき ほめまつる
みつにまして ひとりの神 愛にみつる 強き主を
- ②聖なるかな 聖徒たちも みつかいたちも こうべをたる
昔いまし 今も いまし また とわに ます神に
- ③聖なるかな 罪ある目は なが み栄えを 見まつらねど
力と愛と きよきことの まどかさ たぐいあらじ
- ④聖なるかな 全能の神 つくられしものは ほめたとう
三(み)つにまして ひとりの神 愛にみつる つよき主を

■鹿のように

谷川の流れを慕う 鹿のように 主よ わが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾 あなたこそ わがちから
あなたこそ わが望み われは 主を仰ぐ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 84 篇 1～7 節

- 1 万軍の主よ あなたの住まいは
なんと慕わしいことでしょう。
- 2 私のたましいは 主の大庭を恋い慕って
絶え入るばかりです。
私の心も身も 生ける神に喜びの歌を歌います。
- 3 雀さえも 住みかを
燕も ひなを入れる巢を
あなたの祭壇のところに得ます。
万軍の主 私の王 私の神よ。
- 4 なんと幸いなことでしょう。
あなたの家に住む人たちは。
彼らはいつも あなたをほめたたえています。
- 5 なんと幸いなことでしょう。
その力があなたにあり
心の中に シオンへの大路のある人は。
- 6 彼らは涙の谷を過ぎるときも
そこを泉の湧く所とします。
初めの雨も そこを大いなる祝福でおおいます。
- 7 彼らは力から力へと進み
シオンで神の御前に現れます。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 使徒の働き 2章 1～21節

- 1 五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。
- 2 すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。
- 3 また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。
- 4 すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。
- 5 さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国々から来て住んでいたが、
- 6 この物音がしたため、大勢の人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、呆気にとられてしまった。
- 7 彼らは驚き、不思議に思ってしまった。「見なさい。話しているこの人たちはみな、ガリラヤの人ではないか。
- 8 それなのに、私たちそれぞれが生まれた国のことばで話を聞くとはいったいどうしたことか。
- 9 私たちは、パルティア人、メディア人、エラム人、またメソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントスとアジア、
- 10 フリュギアとパンフィリア、エジプト、クレネに近いリビア地方などに住む者、また滞在中のローマ人で、
- 11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレタ人とアラビア人もいる。それなのに、あの人たちが、私たちのことばで神の大きなみわざを語るのを聞くとはい。」
- 12 人々はみな驚き当惑して、「いったい、これはどうしたことか」と言い合った。
- 13 だが、「彼らは新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、嘲る者たちもいた。
- 14 ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々に語りかけた。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。私のことばに耳を傾けていただきたい。
- 15 今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているわけではありません。
- 16 これは、預言者ヨエルによって語られたことです。
- 17 『神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。
- 18 その日わたしは、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると彼らは預言する。
- 19 また、わたしは上は天に不思議を、下は地にしるしを現れさせる。それは血と火と立ち上る煙。
- 20 主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。
- 21 しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

■聖歌 607 「みたまはあめより」

- ① みたまは あめより われに くだりて
よろこび安きを 満たしたまえり

※わがこころ 静かなり 嵐はやみて
イエス君の み声のみ さやかに聞こゆ

- ② みたまの 満たしを たまいし時に
うたがい 恐れは われより去れり
- ③ まことに みたまは 光のごとく
こころの やみ夜を 照らし たまえり
- ④ みたまに 満ちたる こころのうちに
主はその み顔を うつし たもうなり

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」